



-般社団法人 **茨城県建築士会** http://i-shikai.com

けんらく 近 2020.2.5 第102号

page	目次								
01	会長年頭あいさつ	魅力と活力のある会をめざす							
02	報告	令和2年新春賀詞交歓会							
06	建築作品紹介	笠松運動公園陸上競技場(メインスタンド屋根							
08	報告	台風19号水害被災者向け「住まいの復旧相談会」							
10	先輩会員をたずねて								
12	ようこそフレッシュ	マン/Welcome Freshman!!							
	支部活動報告								
13	龍ケ崎支部	茨城県元気な森林づくり活動支援事業							
14	ひたちなか支部	ひたちなか支部各地区の産業祭り							
		令和元年東海村文化祭を終えて							
16	県央支部	「若手設計者の現在」報告							
	筑波支部	耐震診断・改修の啓発活動							
		耐震啓発事業・出前講座							
18	日立支部	日立支部見学会							
19	石岡支部	「南会津町前沢」へ研修旅行							
		第15回絵画展							
20	北相馬支部	「とりで産業まつりで上棟式体験コーナー」							
21	行方支部	行方支部研修旅行							
22	県南ブロック協議会	資源再生プラント工場等の見学会							
	委員会活動報告								
24	総務・企画委員会	第62回建築士会全国大会「北海道大会」							
		建設フェスタ2019報告							
26	会員委員会	第28回日帰り見学会							
27	情報・広報委員会	茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会							
28	青年委員会	現代アート作家への挑戦							
30	女性委員会	わくわくセミナー							
		「住宅の省エネ適合義務化見送り」							
		「犬と猫との住まい」							
		「オーダーキッチンの話」							
		ラブアークセミナー							
		「高齢者のための住宅リフォーム」							
		『里山住宅博 in TSUKUBA 2019』							
題字	大井川 和彦 茨城県	知事							
表紙	笠松運動公園陸上競技場 (メインスタンド屋根)								
	設計・監理 株式会社	生 三上建築事務所							
発行	令和2年2月5日								
次回	令和2年6月5日予定								
部数	2,200部								
発行	一般社団法人 茨城県	建築士会 会長 柴 和伸							
	〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館 2 F								
	TEL.029-305-0329 FA	AX.029-305-0330							
	E-mail kyy05413@n	ifty.com							
編集	情報・広報委員会								
	市毛 純一 川又	晴彦 児玉 欽司 成田 孝成							
	大山 早嗣 武居	公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜							
	塙 万治 稲野丸	D 浩 軽部 守彦 沢畑 一成							
	山田 一博 中村	正明 谷島 正憲							

デザイン・印刷

株式会社 高野高速印刷



会長年頭あいさつ

魅力と活力のある会をめざす

一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎 えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、元号が平成から令和に変わり国民の 多くが希望を抱きながら新たな時代を迎えたこ とと思います。

本県においては天皇皇后両陛下のご臨席を賜り令和初の茨城国体が盛大に開催され歓喜に沸きました。

しかし、その後の台風19号の上陸は関東甲信・東北地方の広範囲に猛威を振るい甚大な被害をもたらしました。

県内においても障害者スポーツ大会が中止となるとともに那珂川や久慈川などの河川の越水や堤防の決壊により特に水戸市や県北地域の市町村に大きな浸水被害をもたらしました。

この水害で被災した皆様方には、改めてお見 舞いを申し上げます。

この水害に対し、本会と事務所協会は連携し、 市町村が被災者に対して設置した「住まいの復 旧相談会」に多くの会員を派遣し、個別相談、 現地調査の要望に対応するなどの支援活動を実 施してきたところです。

近年、全国各地で地震や強風・大雨等の自然 災害が頻発していることから本会ではこのよう な災害時、いち早く被災者支援活動が行えるよ う県と連携して応急危険度判定士の確保、定期 的な模擬訓練、木造住宅耐震診断士の養成など に取り組むと共に、絶えず本部と支部の連携維 持に努めているところです。

さて、令和二年度は建築士法改正により建築 士試験制度が変わります。従来は建築の専門課 程を有する工業高校や大学を卒業した後、所定 の実務経験を経なければ受験ができませんでし たが、改正後はこれらの工業高校や大学を卒業 と同時に受験ができるようになり、試験合格後 に所定の実務経験を経て免許取得ということに なります。

従来の制度では仕事をしながらの受験勉強という環境となるため受験者数の減少や合格率の低下などにより有資格者の減少・高齢化等の問題がありましたが、制度改正により受験者数・若手後継者の増加が期待されるところです。

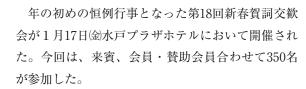
一方、会務運営の安定化と地域に根ざした士 会活動を行っていくためには若年層会員の確保 による会員増強が不可欠です。

このため、若年層会員の確保を目指し、建築 士が士会会員であることに誇りを持ち、士会活 動に魅力が感じられるよう会長・役員・支部長 等が一体となって会の魅力向上と活性化の課題 に取り組んでいく所存であります。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し 上げ、新年の挨拶といたします。

令和2年

令和2年1月17日金



武村副会長の開会のことばの後、主催者代表で柴 会長から挨拶があり「昨年は元号が平成から令和に 変わり、45年ぶりの茨城国体が開催され茨城県選手 団も優秀な成績をおさめられた。一方で台風19号の 影響により障害者スポーツ大会が中止となり、那珂 川や久慈川の氾濫によってたいへんな被害が発生し た。県をはじめとする自治体により復旧・復興が進 められる中、水戸市をはじめ自治体からの要請によ





大井川 和彦 茨城県知事



岡田 広 参議院議員



田所 嘉徳 衆議院議員 本会顧問



上月 良祐 参議院議員



高橋 靖 水戸市長 本会顧問



白田 信夫 茨城県議会議員 本会顧問



伊沢 勝徳 茨城県議会副議長 本会顧問



島田 幸三 茨城県議会議員 本会顧問



柴 和伸 本会会長



武村 実 副会長



り、建築士事務所協会と協力し被災された方々の住まいの相談業務を対応させていただいた。今年は東京オリンピック、パラリンピックなどの素晴らしいイベントの開催が予定されており、茨城の元気につながっていけばありがたい。空き家問題や働き方改革などもある。皆様の力を借りながら、会の運営に携わっていきたい。」など新しい年に向けた抱負を述べられた。

来賓挨拶では、大井川知事、岡田参議院議員、田 所衆議院議員、上月参議院議員、高橋水戸市長、白 田県議会議員、伊沢県議会副議長、島田県議会議員 からご祝辞を頂いた。

続いて、「2019年度いばらき地域適合型木造住宅 コンペ」の表彰式が行われ、各賞の受賞者が県木材 協同組合連合会の野上会長より表彰された。

その後、県林業協会理事長の石井県議会議員の乾 杯ご発声により祝宴に入り、例年のことながら支部 の枠を超え、来賓ならびに賛助会員の方々との交流 は大変有意義なものとなった。

祝宴のメインイベントである抽選会には、会員ならびに賛助会員より多くの景品の提供を頂き、最後に㈱フジクリーン茨城様からご提供頂いた50型4K液晶テレビが当たるなど大いに盛り上がった。

祝宴は盛況のうちに進行し、市毛副会長の中締め により賀詞交歓会は終了した。

子年は「子(ね)は繁栄」という格言があります。 会員の皆様にとって大きく飛躍する年となることを お祈り申し上げます。





令和2年 第18回新春賀詞交歓会参加者名簿 ※当日出席された方のお名前を掲載しています

ご来賓

茨城県知事	大井川	和彦	(一社)茨城県空調衛生工事業協会会長	小川	三郎
参議院議員	岡田	広	(公社)茨城県水質保全協会理事長	成田	浩明
衆議院議員	田所	嘉徳	(公社)茨城県宅地建物取引業協会会長	張替	武敏
参議院議員	上月	良祐	茨城県塗装工業組合理事長	佐藤	雅彦
水戸市長	高橋	靖	茨城県鉄筋業協同組合理事長	大平	時彦
茨城県議会議員	白田	信夫	茨城県鐵構工業協同組合理事	萩原	文雄
茨城県議会副議長	伊沢	勝徳	(一社)茨城県貯水槽維持管理協会会長	小田部	部 智
茨城県議会議員	島田	幸三	茨城県管工事業協同組合連合会専務理事	柴沼	成明
茨城県議会議員	塚本	一也	(一社)茨城県消防設備協会副会長	入江	元
茨城県土木部都市局長	仙波	義正	茨城県行政書士会会長	國井	豊
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	足立	信幸	茨城県型枠事業協同組合理事長	藤井	正一
茨城県土木部営繕課長	小圷	達也	茨城県解体工事業協同組合代表理事	髙野	竜也
茨城県土木部都市局住宅課長	和田	幸三	茨城県左官工業連合会会長	根子	清
水戸市都市計画部建築指導課長	井原	孝志	茨城県石材業協同組合連合会会長	長谷川	正一
日立市都市建設部建築指導課長	鈴木	清志	茨城県電気工事業工業組合理事長	浅野	晃司
(一財)茨城県建築センター理事長	江原	秀明	茨城県防水工事業連合会会長	神原	陽一
(一社)茨城県建築士事務所協会会長	舟幡	健	茨城ディスプレイ協同組合代表理事	伊藤	三男
(一社)茨城県設備設計事務所協会会長	菊地	繁	茨城新聞社水戸支社長	二方	善郎
(公社)茨城県測量建設コンサルタント協会会長	方波見	上 正	日本工業経済新聞社支局長	吉濱	俊樹
(一社)茨城県建設業協会事務局長	大内	光浩	日本建設新聞社水戸総局長	井上	哲郎
(公社)茨城県林業協会理事長	石井	邦一	(一社)茨城県建築士会相談役	滑川	浩一
茨城県木材協同組合連合会会長	野上	満正	(一社)茨城県建築士会相談役	松山	恒男
(一社)茨城県電設業協会副会長	園部	昌之	(株)建設未来通信社代表取締役	小泉	孝司
			(敬	称略、順	(不同)

正会員

会長	柴 和伸	ひたちなか支部	山田 博則	県央支部	小沼 隆志	県央支部	根本 周作
副会長	武村 実	鹿島支部	内芝 良吉	"	加藤 宜之	"	根本洋一朗
"	市毛 純一	"	椙山 光彦	"	金澤 重雄	"	塙 貴宏
常務理事	高槻 一雄	"	髙橋 文男	"	轡田 久恵	"	塙 万治
"	岡田 一夫	"	中薗 薫	"	久野 正行	"	早川 敏史
"	潮田 充	"	細田 吉貞	"	倉田 章吾	"	白田洋一郎
"	久保田吉文	県央支部	浅野祐一郎	"	小圷 真司	"	平沼 清美
北茨城支部	篠原 武司	"	安達 芳男	"	小林 要	"	松下 理
"	茅根 信男	"	荒川 芳和	"	小室 晶	"	丸山 好史
久慈支部	梶 ひろみ	"	飯島 隆	"	斉藤 栄治	"	宮本 久
"	市川三和子	"	池崎 栄二	"	佐藤 哲夫	"	守田 康広
高萩支部	飯沢ひろみ	"	井坂 光宏	"	篠根 玲子	"	柳下 文江
"	佐藤 新一	"	石川 啓司	"	杉本 孝一	"	山田 一博
"	鈴木 清壽	"	石黒 洋子	"	鈴木 弘	"	横須賀 孝
"	棚谷 哲夫	"	石田 一裕	"	関根 貴雄	"	横須賀満夫
日立支部	石黒 幸喜	"	稲沼 修二	"	田中 和明	"	吉田 進
"	菊池 積	"	宇留鷲博一	"	田中 健一	"	吉田 雄一
"	坪和 昭男	"	大鐘 孝弘	"	田中 正已	"	和田 淳一
"	冨田 義光	"	大槻 薫	"	富田 正美	"	渡辺 章夫
"	三澤 俊介	"	大部 淳一	"	冨山 則行	"	渡辺 信一
ひたちなか支部	大内 賢一	"	大山 早嗣	"	中﨑 妙子	県庁支部	打越 信久
"	上久保博隆	"	岡崎 和裕	"	中山 眞矢	"	小笠原正裕
"	清水 洋一	"	小川 憲一	"	沼田 弘次	"	野澤 謙次
"	浜中 本子	"	小貫 弘巳	"	根本 勝義	JR水戸支部	岡野 武仁

JR水戸支部	清原	利彦	桜川支部	高橋	悦也	石岡支部	海老师	原隆士	筑波支部	矢口	朋子
"	諸川	博幸	"	高宮	英司	"	貝塚	勇	土浦支部	青山	立美
行方支部	池田	広樹	"	比企	正信	"	菊地	直衛	"	赤木香	季菜子
"	石井	誠之	"	古橋	明	"	小暮	真一	"	赤木	裕子
"	金子	雅代	下妻支部	江面	松男	"	島田	哲	"	石坂	健一
"	橋本	照雄	"	軽部	守彦	"	武居	公江	"	大野	雅明
"	原	正樹	"	杉田	昭広	"	三輪	清司	"	小神里	予 栄
"	本澤	幸一	"	広瀬	元二	"	和田	邦裕	"	櫻井	成郎
"	谷田川	治彦	常総支部	栗原	力男	稲敷支部	児玉	欽司	"	鈴木	啓之
鉾田支部	葛西	栄一	"	田島	栄治	"	新田	孝司	"	須藤	隆
"	鎌田智	富士夫	"	戸塚	昇	"	根本	浩司	"	関根	美宏
"	久米	恒雄	"	松崎	マサ子	北相馬支部	小磯	俊明	"	塚本	博幸
"	田崎	重司	筑西支部	上形	肇	"	島田	弘	"	塚本	美明
古河さしま支部	小林	澄夫	"	柴	博美	"	土井	金哉	"	豊﨑	晋也
"	長塚	威	坂東支部	大久任	呆正男	"	宮崎	清	"	中村貞	〔紀子
"	根本	和也	"	篠塚	康延	筑波支部	相澤	晴夫	"	増山	栄
"	長谷月	川正幸	"	滝本	武	"	青木	孝二	竜ヶ崎支部	成田	孝成
桜川支部	飯島	洋省	"	森	均	"	岩永	至功			
"	石島	隆	"	横島	傳	"	潮田	浩			
"	市村	洋	結城支部	小貫	廣利	"	河野	正博			
"	稲葉	正彦	"	小谷野	野栄次	"	斉藤	保弘			
"	岩永	幸呼	結城支部	立堀	孔一	"	中泉	文夫			
"	上野	崇	"	田中	一博	"	長瀬	行弘			
"	上野	誠	"	西木	照久	"	堀江	功			
"	鈴木	孝和	"	北條	豊之	"	松田	祐光			

賛助会員

アイジ―工業(株)	長谷川	隆介	(株)建築資料研究社/日建学院	柿本	和彦	日本ERI(株)つくば支店	中村	浩
暁飯島工業(株)	平塚	亨	"	高橋	賢司	(株)根子左	豊田	一雄
(株)アルク	高羽	紀幸	"	山田	亜目	常陸大理石(株)	佐川	功
(株)安心確認検査機構	薄井	恭平	(株)建友	根本	学	"	篠原	治
"	中川	尚也	光商建材(株)	島田	誠	(株)日立ビルシステム	尾崎	貴規
"	舞木	善郎	コスモ綜合建設(株)	池田	勇夫	"	加藤	貴浩
(株)伊勢甚本社 水戸プラザホテル	綿引	章博	"	池田	大輔	"	菅原	廣司
(一財)茨城県建設技術公社	関口	敏夫	"	岡部	安寿	"	ЩΠ	史子
"	古平	祐次	"	榊	貴人	(株)フジクリーン茨城	大竹	伸一
(一財)茨城県建築センター	小沼	紀男	"	菅原	秋彦	"	大竹	昌士
"	小林	幸夫	三英物産(株)	石塚	義章	"	寺門	直人
"	佐藤	奈美	(有)三企地盤	小沼	功	フジクリーン工業(株)	川瀬	幸夫
"	関 孝憲		"	矢作	慎一	"	前田朝	大郎
"	袖山美	佐夫	三和シャッター工業(株)	神谷	啓文	(株)フジタビジネスマシンズ	藤田	卓也
"	廣木由	1美子	"	道順	浩隆	"	宮部	正栄
"	吉田	一枝	(株)新栄電気通信工業	庄司	泰世	前田製管(株)茨城支店	蘆田	輝幸
植田防水工業(株)	栗原	信	(株)新日東	小沢	啓一	"	安藤	直哉
(株)エスアールエスディービー社	小澤	康二	"	鈴木	紀英	三谷セキサン(株)	小山	秀人
"	須藤	崇人	清和工業(株)	村木	宏之	ミナト防災通信工業(株)	若林	純也
"	須藤	裕市	(株)総合資格学院	宮田	健一	横信建材工業(株)	浜野	治
(株)角藤	小柳	聡	"	平岡	靖史	(株)LIXIL茨城支店	大林	正明
"	村田	弘就	大建工業(株)	栗原	隆二	"	髙橋	優
株木建設(株)	川﨑	哲史	"	山縣	浩久	"	三原	伸和
"	黒江	俊郎	(株)高野高速印刷	森田	隆一	YKK AP(株)	鴨井	宏幸
"	村島	俊太	高橋商事(株)	高橋	勲	"	中武	剛
(株)菊地設備設計事務所	横山	努	タニコー(株)	小川隆	全 太郎	和知商事(株)	石川	弘幸
(株)菊正塗装店	鈴木	章	"	小圷	拓博	"	和知	忠道
クレハ錦建設(株)	秋葉	武志	千代田工営(株)	一木	大介	"	和知	紀良
"	安田	宜弘	″	北井	亮一			
(株)建設未来通信社	沼田	好世	(株)千代田興業	坂井	康秀			
(株)建築資料研究社/日建学院	岩崎万	7理子	(株)奈良屋	市橋	弘光			



建築作品紹介

与件

2019年10月8日(火)、天皇皇后両陛下をお迎えして、 茨城国体の開会式が行われた。半世紀になろうとす る陸上競技場の観覧席に新たな大屋根を必要とした のはこの目のためだった。

与件は、国体の開会式に天皇皇后両陛下がお出ま しになるロイヤルボックスに屋根を架ける。多少の 小雨ならばお二人が濡れることのないようにする。 大雑把にいえば、そういうものだった。2015年、先 代の天皇陛下が上皇様になることなど知る由もない ときのことだった。

基本方針と検討過程

既存の競技場は、昭和49年に開催された先の国体 のために建設されたものだ。当然のことながら、昭 和56年に改訂された現行の耐震基準は満たしていな いし、子細に見れば、様々な部分で現行の建築基準 法を満足していない。

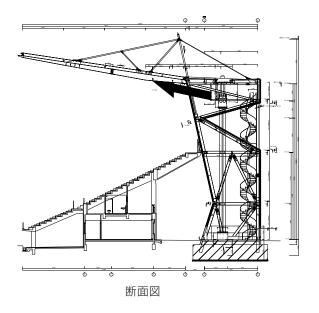
天皇陛下のお顔に雨が掛かってはならない。でき るならば、眩しい秋の日差しさえも当たらないよう にする。そのためには、できるだけ前方まで屋根を 架けられるようにする。この与件が、そう甘いもの ではないことが設計を始めてすぐに明らかになる。

既存の競技場の構造体に頼ることなく、スタンド を覆う屋根をつくることになる。斯くして、競技場 の外側の独立した構造体を設けて、全長約100m超、 奥行き20m超の大屋根を観覧席上部に張り出させる こととなった。そのため、鉛直力を支持する柱を可 能な限りスタンド外周の上端いっぱいに設定するこ とを前提に、柱割と基礎の配置を検討して行った。 幸いだったのは、電気や排水の埋設配管はあったも のの、スタンド外周に埋設された構造物がなかった ことだ。

大きさ・構造・基本仕様

スタジアムと一般の建築が大きく異なるものは、 そのサイズ感だ。笠松陸上競技場はそれほど大きな 競技場ではない。けれども、1周400mのトラック を包含するフィールドのサイズは国際陸連公認のも のだ。そこに架ける屋根は、平面的には大きく弧





を描きながらメインスタンドの半分を覆う。全長 102.2mに及び、スタンドの前面に合わせて設定し た屋根の出は21.85m、その背後に控える構造体が 9mあり、合計30.65mある。3,000㎡に及ぶ屋根を地 上からは20.4mのほどの高さに設定した。

構造は鉄骨造ブレース構造である。両端に設けた 櫓状の構造体で地震力を負担する。そして、ふたつ の櫓の間にボックス状トラスを掛け渡す。トラスは 無柱で掛け渡されるのではなく、14.6m、21.6m間 隔で配置される約500φの柱が両端の櫓とともに鉛 直力を支持している。それらは皆スタンド上部の屋 根を片持ちで支持するためのお膳立てである。

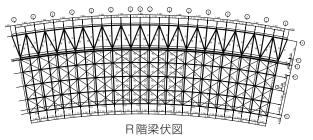
スタンド側の屋根の構造体はトラスから単材の梁 を跳ね出させ、鉛直柱を支点に吊り、その反力をト ラスの外側に引っ張っている。トラスは大スパンを 掛け渡すよりも、前面に張り出す大きな屋根の反力 を処理するための装置である。そのボックス状のト ラスを介して、約7.5m間隔(既存スタンドの柱割 に合わせた) に配置した267.4φの柱状の材料で屋 根荷重を地面まで引き寄せている。

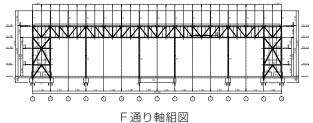
スタンドの屋根はテフロンの幕である。屋根を支 持するための雑物の一切はメタルパネルで覆い、6 号バイパスからのアイキャッチとなることを目論ん だ。巨大なキールトラスの下面は鏡面のパネルとし て、華やかなスタジアムを訪れる観客を映しこむも のとした。

スタジアムというもの

Jリーグ発足後日本のスタジアムは観客席に屋根 があるのが当たり前のようになった。身近なところ では鹿島スタジアムがあるが、世界を見渡せば、ス タジアムの様相は多彩である。

その最右翼は、2008年に開催された北京オリン





ピックのメイン会場であろう。「鳥の巣」という愛 称で呼ばれ、建築自体が注目を浴びた。スイス・ バーゼルのリージョナルな建築家に過ぎなかったへ ルツォーク&ド・ムーロンは、1994年ロンドンの テートモダンのコンペでの勝利で脚光を浴び、「鳥 の巣」でその名を世界に知らしめた。必要十分な塩 梅を凌駕するほどに存分に鋼材を使った鳥の巣は、 巨大な獅子の雄々しき躍動を無言のうちに誇示する こととなった。

2019年の年の瀬、紆余曲折あった新国立競技場も お披露目された。あれが日本という国家のスタジア ムとして世界に誇れるだろうか。ザッハの案で完成 していたならば、鳥の巣とマッチアップすることも できたであろう。けれども、完成した新国立競技場 はファイトすることなくそのステージから降りてし まっている。否、ステージに上がることに後ずさり したといった方が正しい。

日本が上昇気流に乗ろうとしていたかつてのオリ ンピックの際に造られた、丹下健三設計の代々木の 体育館は間違いなく1964メモリアルである。新国立 競技場が半世紀先の未来に2020メモリアルに成り得 るであろうか。見えない負のレガシーに怯えて世界 のトップ建築家のデザインを廃案に追いやり、巨大 な雑物をあさましく拵えてしまう現実が、日本での 建築というものの扱いである。そこには、もはや先 進の国ではなくなりつつある日本の素性が映し出さ れているのだ。

益子 一彦/三上建築事務所

- ■建物概要/笠松運動公園陸上競技場(メインスタンド屋根)
- 在 地 茨城県那珂市向山1282-1
- 株式会社 三上建築事務所 ●設計· 監理
- 陸上競技場 ●施設機能
- ●敷 地 面 積 560.430mf
- 4,983.33㎡ (屋根面積:約2,000㎡) 築面積
- 7.350.52m ●延 床 面 積
- S造 (屋根) ●構 造 種 別

報告

台風19号水害被災者向け 「住まいの復旧相談会」を開催

■情報·広報委員会 委員長 大山 早嗣

令和元年10月12日出に、関東地方を縦断した台風 19号。茨城県を流れる河川には、上流部に降った大 量の雨水が流れ込み、12日夜から13日の朝にかけて 那珂川、久慈川、利根川の各水系に堤防決壊、越水、 溢水等の甚大な被害をもたらしました。

被災市町村からの要請により、茨城県は建築相談 窓口の開設を決定し、茨城県建築士会と茨城県建築 士事務所協会が協力し、水害被災者向け「住まい復 旧相談会」を開催しました。水戸市を皮切りに、常 陸大宮市、城里町、常陸太田市、那珂市の各相談会 場で、茨城県住宅耐震・リフォームアドバイザー登 録者ならびに両会会員が相談にあたりました。

茨城県建築士会は、水戸市と本年3月に「災害時 における対策業務の応援協力に関する協定書」を締 結して間も無いこともあり、水戸市の要請に対して 県央支部の会員が中心となって、10月25日金から4 日間、現地対策本部となっている飯富市民センター と、水戸市役所本庁舎それぞれの会場で相談にあた りました。また、城里町においても10月28日例から

2日間、城里町役場の会場で「住まい復旧相談会| を開催しました。

浸水した地域や建物によって被災状況が異なるた め、相談に訪れた方々の話をひと通り聴いた後に、 床や壁、断熱材の撤去範囲や修理の方法、建て替え る場合の構造種別など、様々な相談に対し丁寧に分 かりやすく説明するよう心がけました。水戸市の会 場では罹災証明の発行を含め、被災者生活再建支援 制度、災害見舞金、住宅の応急修理制度の相談窓口 がひとつの会場にまとめられ、ワンストップで対応 できる体制になっていましたが、申請手続きがそれ ぞれに必要となるため、書類の作成や添付書類の準 備など、年配の方にとっては負担となっている様子 も見受けられました。

また、現地での相談がある場合は、相談時に茨城 県住宅耐震・リフォームアドバイザー登録者の現場 派遣受付を行い、希望日時等を茨城県建築士事務所 協会へ申し送りしました。

●水戸市

建築士による住まいの再建に関する相談会

開催日時:10月25日(金)~10月28日(月)

開催場所:飯富市民センター、水戸市役所本庁舎

相談員数: 4日間 24名

相談件数:34件(飯富市民センター)、

.....

11件(水戸市役所本庁舎)

●城里町

住まいの復旧相談会

開催日時:10月28日(月)~10月29日(火)

開催場所:城里町役場 相談員数:2日間 6名

相談件数:10件





浄化槽の「ちから」

私たちの使命は、

子供たちが水まみれ泥まみれになって 遊ぶ事のできる、 笑顔であふれた小川や水辺を再生する事です。

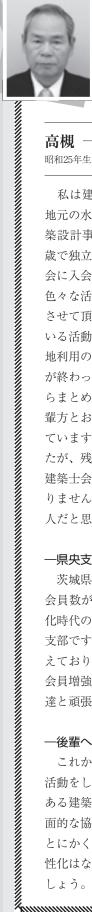




茨城エコ事業所 登録No. AA-L 95



〒311-4164 水戸市谷津町細田1-21 水戸西流通センター内 TEL:029-254-7777 FAX:029-254-7778 http://www.fujiclean.net/



高槻 一雄 氏 (県央支部副支部長) 昭和25年生まれ/昭和56年入会/会員歴38年

私は建築の世界に入って51年になります。
地元の水戸工業高校建築料を卒業して、某建築設計事務所で13年間修業を立と同時に建築士会に入会をしました。当時は青年部が活発を加させて頂きました。当時は青年部が活動としていましたので、楽し残っている活動としていましたので、楽し代教育としては、水戸市の五軒小学校の跡地利用の提案をした事を覚えています。 仕事が終わってから皆で集まり話し合いをよき先輩方とお酒等も飲む機会も多かったと記憶しています。その時の先輩でよいましたが、残念なことに亡くなってといましたが、残念なことに亡くなってといましたが、残念なことに亡くなったと記憶しています。その時の先輩でよいましたので残念でなりません。生存していれば次期会長になれる人だと思っていました。

「県央支部副支部長としての抱負 茨城県建築士会も同じですが、県央支部の会員数が400名を割ってしまいが、県内最大の支部ですので何とか減少を止めなければと考えております。魅力ある支部活動を企出の大きたいと思います。

「会輩へのメッセージ」
これから県央支部は若い人が中心になって、活動をして頂き会員項強につながる様なも全面的な協入ではよっ。それから県央支部は若い人が中心になって、活動をして行きたいと考えます。そうぞ皆で頑張りましょう。



信頼と安心の住まいを目指す



ー_{トidist}茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。 迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- 「WEB 申請」を行っております。
- 当センターのご利用の多いユーザーには

「建築確認手数料の後納制度」があります。

「レターバック等にて確認申請」を受付けております。

確認引受書と併せて新しいレターバックを返却させていただきます。

■ 建築確認・検査業務

美務の範囲

- ●今での建築物の確認(ルート2層資対応)、中間検査 及的美国操作
- 建築設策、「作物の性勢及び完了終直
- ●仮使用で設定手機者

完了検査率アップ! 検査済品は適法建築物の証です。

② 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まものすまい保険(能活事務機関)(心宅保証機構図)
- あんしん住宅取出保険(取次店) 製仕宅本かった保証
- JIOわが家の保険(取次店) 採用本住宅保証核告接続
- ●ハウスプラスすまい保険(収次円)パウスプラス住宅保証券

3 フラット35適合証明業務

住宅金別支援機構の融資性宅による設計書直・現場書直業務

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の作業の相互比較が出来ます。
- 動計どおこの施工がされるよう第3番機関(当センター等) による検査が受けられます
- ●円滑・迅速で専門的契約争処理が受けられます。

5 長期優良住宅技術的審査業務

- 6 低炭素建築物技術的審査業務
- 7 BELS 評価業務
- 8 省エネ適合性判定業務
- 9 省エネ関連技術的審査業務
- ⑪ 構造計算適合性判定業務
- 📶 建築技術の啓発・情報提供業務
- ●住宅・建築に関する経験のできるコーナーを 本部及び原南車数をに駆けています
- ●毎月第1・第3 1 〒 〒10:00 ~ 16:000 2:00~13:00 基内表

http://www.ibakenju.or.jp/



■本部車器所(水戸市) 7810 0863 茨州県水戸市鉄原町878-30 13.029-305-7300 FAX 029-305-7310 ■県海事観符(つくばも) 7306 0036 深端原文は不松代 18 1

■月正年時下 (古:汀市) 〒306-0125 茨城県古河市仁連1921-4 TE 029-860-8088 FM 029-860-8090 TE 0280-75-2600 FM 0280-75-2603

·般社団法人 茨城県建築上会 会員の皆様へ

迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに 会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。 本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

令和2年1月

・設財団法人 茨城県建築センター

会長 柴 和伸 職員一同

Freshman!!

⑤建築士会に期待する活動

・参加したい活動

⑥建築士として将来の目標



忠田 恭一 43歳 支部名:ひたちなか支部

- ①忠田 恭一 43歳 ひたちなか支部
- ②電力会社で主に工事監理、施設の維持管理を行っています。
- ③福井県は美浜町の出身です。仕事は東京で工事計画などの机上業務を 行っておりましたが、茨城に転勤となり、約15年振りに現場での工事監 理となります。

仕事では主にコンクリート構造物に係わってますが、木造が好きで興味 があります。宜しくお願いいたします。

- ④茨城に住んで地元地域の方とのお付き合いが増えました。建築士として 何かお役にたてないか、建築のことをもっと勉強したいと思い入会しまし た。家族には建築士のことを知ってもらえる良い機会になると思います。
- ⑤講習会や見学会に参加し、建築士としてレベルアップしたいと思います。
- ⑥建築士として地域ボランティア活動ができるように、広く建築に係わる 知識を深めたいと思います。
- ①間中 清美 52歳 坂東支部
- ②マキ設計事務所
- ③薬科大学を出て18年間、薬剤師をしておりました。 40歳より、何間中工務店を経営しております。

今年、マキ設計事務所を開きました。設計に関しては、まだまだ未熟です。 ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

- ④設計に関わっている方と交流がしたくて入会致しました。
- ⑤講習会、見学会、セミナー等に参加したいです。
- ⑥前の仕事を活かして、健康と動線の良い、家事楽な建物を作っていきた いと思っております。また、地域貢献ができるようになれればと思って おります。



間中 清美 52歳 支部名: 坂東支部

建築塗装。防水工事。広告看板

熱を消す不思議なハイブリッド塗料「熱交換塗料・タフコート」 暑さ・ ECO (電気料金の削減) 対策! ・ 炎天下のアスファルト・プールサイドも素足で歩ける

株式会社 タケイ・アーツ

TEL 0299-23-1738 ■ FAX 0299-24-2552



令和元年度茨城県元気な森林づくり活動支援事業 雨天のスタート!「本棚作り体験」

今年で4年目になる「元気な森林づくり活動」。 令和元年11月23日の「勤労感謝の日」に龍ヶ崎商店 街大通りで行われる 商業まつり (いがっぺ市) で 開催されました。その中心的な「にぎわい広場」に て茨城県建築士会龍ヶ崎支部は茨城県産材を使用し て「本棚作り体験」を通して親子のふれあいを感じ て頂き、茨城県の森林育成の大切さをアピールして、 建築士会が指導サポートして安全に道具の使い方や、 もの作りの楽しさを一緒に楽しみました。

建築士会員10名、一般参加者は延べ300人。当日 はあいにくの天気で気温も低く雨カッパを着込み、 雨の早朝より急遽テント2張り増設して親子の参加 者を迎えました。

午前中はとても寒く雨の中、数組程の親子の参加 でした。午後も雨は止まずでしたがお子さん連れの 家族が続々と参加され、準備していた100組を体験 してもらう事が出来ました。毎年参加してくれる方 が数名いて「楽しみにしているよ」と声を掛けて頂 きました。

本棚の完成まで金づちを巧みにに使い、仕上げて 完成した本棚を嬉しそうに抱えていました。

自分で作った本棚を大事に使って、しっかり勉強 に励んで欲しいですね!

準備段階での試作品・運営打ち合せでは、少人数

での段取りとなりましたが「本棚作りを体験する小 さなお子さんのため」段取りを考え釘を真っ直ぐに 打てるように下穴を開け、カンナを掛け、ヤスリを 掛けて準備を進めました。

家富支部長の号令のもと雨天の作業でしたが"今 年も大盛況"無事故で楽しい時間を過ごす事が出来 ました。



ひたちなか支部 各地区の産業祭り

■ ひたちなか支部 M.K

ひたちなか支部は、ひたちなか市・那珂 市・常陸大宮市・東海村の3市1村のエリア を包括しています。夏から秋にかけ地区ごと に産業祭・文化祭等が開催されており、今年 も各地区で建築士会のブースを持ち出展しま した。今回は東海地区、ひたちなか地区の様 子をご紹介します。



ひたちなか地区

ひたちなか市産業交流フェア2019

11月2日・3日にわたり、ひたちなか総合運動公 園にて開催された「ひたちなか市産業交流フェア 2019 |

関東最大級ともいわれているフェアですが、今年 も前年より1000人増の31,000人の来場者があったと いうことです。

我々のブースも昨年同様多数の来場者がありまし た。樹木をもっと身近に感じてほしいとの思いで、 材木の名前当てクイズには恒例となった苗木や花の 種のプレゼント付で大変好評です。また、現支部長 が若かりし学生のころ撮影した昭和50年当時のひた ちなか市のメインストリートである勝田表町商店街 の連続写真の掲示。これは皆さん立ち止まり、しば し懐かしさに会話がはずみます。現在は建て替えら れたビル、よく通った純喫茶、マーケット、古い駅 舎などなどそれぞれが思い出を持っていらっしゃい



ました。

平成7年から当時の青年部が中心に出展していま したが、来年はどんな展示物にしようか、どんな楽 しい呼び物があるのだろうかと、子供も大人にも立 ち寄っていただけるような企画をかつての青年部会 員(現老年部?)を中心にがんばって考えています。 どうぞ来年は是非、ひたちなか市産業交流フェアへ お越しください。





令和元年東海村文化祭を終えて

■ひたちなか支部 佐藤 章一朗

東海地区

令和元年度 東海村文化祭2019

毎年、東海村の文化祭に出展参加していますが、 今年は令和に入り初めての文化祭となり、昨年とは 内容を改新しました。苗木配布・ダンボールハウス は毎年大人気なので継続し、新しい内容として、『レ ベルをのぞいてみよう』、『大工さんのカンナにさ わってみよう』の体験コーナーや会員の建築物等の 作品のパネル展示、地球温暖化による気候変動等の パネルを展示しました。

文化祭実行委員会が企画した、小学生以下を対象としたスタンプラリーは好評で小学生の参加者が多かったです。体験コーナーで体験してくれた子供たちは測量機械を見るのが初めての子ばかりで興味津々で見ていました。「カメラみたーい!!」、「〇〇が大きく見えたー」など感想が聞けました。子供だけでなく、大人も何が見えるんだろうと、体験して



体験コーナーの様子

くれた方もいました。体験してみて建築等に興味をもってくれる人が増えたら大変ありがたいと思います。また、大人の来場者で建築に関心のある方より、質問があったのはうれしい限りですが、最近の気候変動による台風被害が多く発生している為、建物に対する関心が高まっているのは複雑な思いがあります。建築士会として建築関係の相談コーナーを復活させてもよいのではないかと思いました。また、世界的に課題になっている地球温暖化問題について、建築士会にて環境に配慮した活動計画をたてて、持続可能な開発目標(SDGs)の内容を盛り込み2030アジェンダのポイントとしてテーマにあげてみてはどうでしょうか。

雨。 その一滴が、 建物に大敵。

業務案内

- ●一般建築、中高層ビルに関する防水全般
- ●雨漏り、水漏れ調査及び施工
- ●外壁吹付工事(割れ補修)
- ●各種工事に関するメンテナンス

植田防水工業株式会社

本社:水戸市八幅町10-71 TEL 029 (227) 4181 FAX 029 (225) 3201

http://www.uedabousui.com メールアドレス JDT06321@nifty.ne.jp

いきいき未来へ
For our active future

コスモ綜合建設株式会社

本社 〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2-13-2
TEL.029-248-5358門 FAX.029-248-5377

「若手設計者の現在」報告

記念すべき第101回目となる県央支部建築セミナー が11月13日(日)、約20名の参加者で県総合福祉会館研 修室にて催されました。講演者は新進気鋭の建築家 で工学院大学講師の菅沼宏樹(かやぬまひろき)さん。 若い設計者が独立し設計事務所を営む事が難しい昨 今において、海沿いの眺望に恵まれた場所や、緑豊 かな森の中といった美しい自然を取り込みつつ、厳 しい自然環境に順応できる住宅の設計手法を確立し、 仕事の獲得に繋げている。

自然の中に住宅を建てる事に特化する事でハウス メーカーとは競合しない建築家としての居場所を見つ けた若い設計者の現在地を、これまでの実作を通して 解説された。自己紹介で、出身の富士吉田市民の多 くと同様に河口湖の上に富士吉田の街、その上に富士 山を脳内地図で考えていたと告白。学部、修士課程、 就職後の修行時代を通じて島根県の温泉津(ゆのつ) 温泉街まちづくりのコンサルティングを行う。出世作の 鳴沢の家は山梨県富士山北麓の自然林の中、リタイア されたご夫妻の別荘、片流れの屋根と外部空間(景観)



と一体化した土間リビング。犬との生活。通年利用を 可能にする水抜き不要システムと蓄熱基礎ピット。吹 抜とゲストルームの、2階寝室の配置など素晴らしいア イデアにあふれている。

西伊豆の家は駿河湾を望む戸田(へた)の崖沿いの 丘の上に建つ。施主から一年毎月通って調査する条件 が出されたそうだ。施主の要求に十分答えて伸びやか なプランと水平に広がる庇により海や富士といった最 高の眺望と静寂なインテリアを確保している。

深谷の家は、変形な敷地や難しい周辺環境を克服 できるだけの力強いプランニングで育ちだかりの子を 持つ5人家族の賑やかさが聞こえてくる傑作。2層吹 抜のリビングと8人掛けの長いダイニングキッチン。内 部テラスと縁側と庭。十分に納得できた90分だった。

支部活動

筑波支部

筑波支部

耐震診断・改修の 啓発活動

「耐震診断・改修の啓発活動」及び「建築士会の PR活動」の一環として、10月19日(土)「つくば市産 業祭2019 と、10月26日(土)「つくばみらい市商工祭 | に、建築士会として出展いたしました。

1. 耐震診断・改修の啓発活動

アンケートを実施し、耐震の対象者にはパンフ レットを配布すると同時に、つくば市が無料の耐震 診断を行っている事などをアピールいたしました。

また、耐震補強金物のカットモデルやパネルの展 示もあわせて行い、興味をお持ちのお客様には、詳 しく説明を加えるなどもいたしました。アンケート は約200名分実施しております。



2. 建築士会のPR活動

当日の展示ブースには「建築士会筑波支部」のノ ボリや看板を設置し、茨城県建築士会の苗木配布事 業の一環としてブルーベリーの苗木150株、花の種 200袋、その他、駄菓子などを、アンケートの謝礼 として配布し好評を博しました。

耐震啓発事業・出前講座

令和元年度耐震啓発事業・出前講座を10月20日(日) つくば市花畑交流センターにおいて10時30分から12 時まで行い、花畑地域の方々約30名の参加して頂きました。

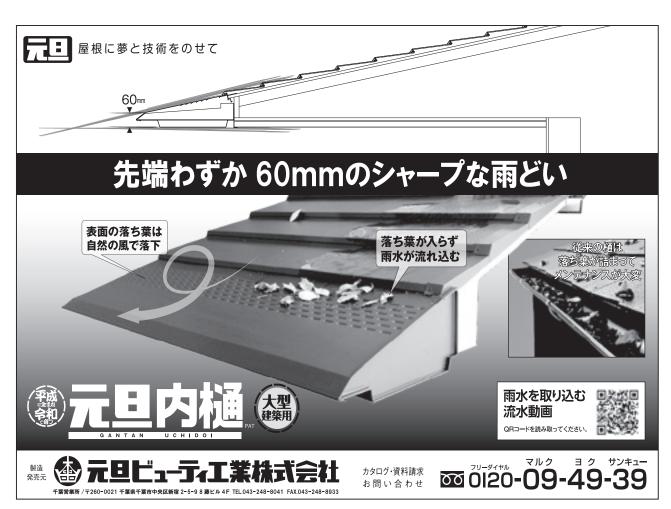
筑波支部会員8名(潮田浩委員長・相澤・潮田 充・藤田・松田・服部・岩永・青木)と、筑波支部 会員でもある塚本一也県議会議員の他、つくば市役 所より2名の参加を頂き、出前講座を実施いたしま した。

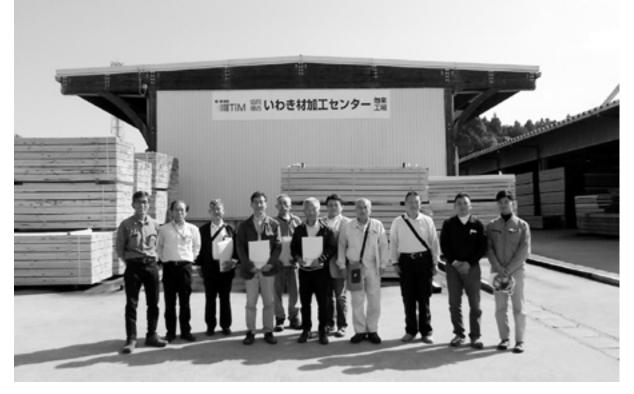
耐震啓発の出前講座では、大きな地震が来た場合、 あなたの住宅は耐えうることができるのか(耐震診 断の必要性)、耐力不足の場合の補強方法の大切さ について、地域住人の方に模型等を利用しながらお 話しました。また、塚本議員からも県の取組みにつ いてお話を頂きました。

今後もつくば市と筑波支部会員の皆さまと共に、 相談会や耐震啓発の事業を行い、広く一般の方々に 建築士会筑波支部の活動により目を向けていただき たいと思っています。









「日立支部見学会を今年も開催しました」

10月30日(水)に9名の参加者が支部事務局に集合し、 見学場所のいわき市内へ移動しました。

今回は「協同組合 いわき材加工センター」の2 つの工場見学です。午前の部「勿来工場」そして、 昼食後移動し、午後の部「小川工場」で共に2時間 ずつ要した一日でした。

「協同組合 いわき材加工センター」は会報誌「建 築士2019年7月号」で「大径木の製材技術の展開と 課題」という特集でも紹介され、読まれた方も多い と思います。

では、見学内容を紹介します。

「勿来工場」は【丸太→皮むき→製材→乾燥→プ レーナー仕上げ→梱包、完成】という丸太(スギ材、 桧材等の福島県産材) から製材品までの一連の加工 を全て機械化で行っています。工場内は広く木材が きれいに整列され、作業流れも効率的で、長く太く 高く積み上げらた木材の景観はとてもダイナミック さを感じました。

「小川工場」では住宅用製材品は【横架材加工機、 柱加工機と特殊加工機』と全て日本製の加工機によ り伝統仕口の加工を高精度プレカットし、非住宅用 製材品では【大断面加工、CLT加工】で海外製の 加工機 (CAD/CAM連動) により、長く重量のあ る大断面材の加工と巨大なCLT加工機によりプレ カット加工を行います。こちらの場内も綺麗で機械 自動化の高精度には驚きました。(参考文の一部は いわき材加工センター様より配布資料の抜粋です)

両工場共にセンター構成企業方2名の案内で見学 の流れ、センター事務所内で概要説明→工場内見学 →総括質疑応答等、忙しい中貴重な時間を割いて頂 きました。

日立支部会員で何度も加工センターと仕事をして いる方が参加され、当日の説明担当者の方と話がは ずみ、参加者も皆仕事に直結する見学なので多くの 質問をさせて頂き、より多くの詳しい話が聞く事が でき、大いに内容充実した見学会でした。

当日、小川工場附近及び道中は台風19号の影響で 夏井川が氾濫し広範囲で洪水の爪痕が残っている状 態でしたが、小川工場は川に隣接した場所でしたが 被害が無かったそうです。

「南会津町前沢」へ研修旅行

■石岡支部 島田哲

令和元年10月20日(日)石岡支部研修旅行が開催され ました。今年は南会津前沢地区と会津田島に見学に 行ってきました。

前沢集落は、平成23年6月に「南会津町前沢」と して国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されま した。明治40年、集落のほとんどの建物を焼失した 大火の後に、周辺地域の大工の手により一斉に再建 されたため、統一的な意匠による景観が形成されま した。

前沢景観保存会の方にガイドをお願いして、1時 間ほど歩きました。集落内には、茅葺き中門造り(曲 家)13棟を含む伝統的家屋が19棟あり、現在も人々 の暮らしが息づいており、日本の原風景を今に残し ています。お土産屋が多いテーマパークのような観 光地にはなっておらず、側溝を流れる湧き水で野菜 を洗い、果物などを冷やして置ける溜め枡等もあり、 普段の生活が脈々と営まれていることにたいへん魅 力を感じます。豪雪地帯で築100年が経っているに



も係わらず、よく維持保全されていて、建物にかけ る愛情を感じました。

旧南会津郡役所は、明治18年に創建された擬洋風 建築の建物で、昭和46年に福島県の重要文化財に指 定されました。玄関のコリント式風木造柱や鮮やか なブルーの南京下見がとても印象的です。館内には ガイドさんがいて、建物や調度品などの展示物につ いて説明をしてくれました。特に南山六義民につい ては、熱く語っていました。地元ではとても有名な 話だそうで、興味のある方は是非現地を訪れてくだ さい。

第15回絵画展

■石岡支部 武居 公江

今年も石岡市内小学4・5・6年生を対象に絵画 展を実施しました。

テーマは、「未来に住んでみたいまちや家」「いし おかにこんなお店があったらいいな」。145名の作品 が集まり、審査会を開いたのち市内2か所で展示、 その後、授賞式が12月14日生)に市内国府地区公民館 で行われました。

授賞式には、後援の石岡市教育委員会より教育部 長に出席いただき、受賞者のご家族や小学校の先生 も参加下さいました。

審査の先生からは、発想のユニークさ。たとえば、 泳いでいる金魚の中が家になっていたり、お菓子の 家では、家やお花もクッキーでできており、色は茶 系、その周囲は黄色と、色の対比が良い等、講評を いただきました。

私達建築士も、絵から 発想の自由さ、ユニーク さなどを学び、「石岡の まちづくり | にひと役買 いたいものです。







笑顔いっぱいの皆さん

「とりで産業まつりで上棟式体験コーナー」

第38回となる「とりで産業まつり」11月2日生・ 3日(日)、2階建ての建物を造り、鶴・亀の矢、五色 の旗、幣東を掲げ、餅600個、お菓子200個をまく模 擬上棟式を行ないました。

今では行なうことの少なくなった上棟式のお祝い の儀式ですが、其の由来、流れを説明し、酒.米.塩



大行列の苗木配布



本格2階建造りました

を棟木に上げ槌打をする行為を皆さん興味深く見 入っておりました。例年通り苗木の配布とアンケー トは、建築士会のPRにおおいに貢献しております。 これからも建築士会の存在を知って頂く為の活動を 続けたいと思います。

皆さんの笑顔の写真をご覧ください。



活動協力隊



投げる方も笑顔の餅まき



建築士会行方支部研修旅行

令和元年10月26日(土)支部研修旅行で皇居参観へ 行って参りました。

支部長として、恒例の2年に1度の研修旅行を支部総会に次ぐイベントとしてとらえており、8月初旬に支部役員で納涼会を兼ねて研修旅行の打ち合わせを行いました。令和元年ということで天皇・皇室の話題が多く、興味があることから、皇居参観を企画しました。

ガイド付きの皇居内参観のインターネット事前申 込みは、参観月の前月の1日で先着200名のAM5:00 からの受付でしたので、9月1日AM4:00起床4:30 パソコン前に参加者名簿等用意して、スタンバイ、 準備万端。

しかし10月の中旬以降はほぼ参観中止(22日の即位の礼の関係で)で大変残念で暗い気持ちでパソコンをシャットダウン。

当初、当日は参加者全員で外濠の楠公レストハウスで昼食をと決めており、AM東御苑(受付のみで自由散策できる。又大嘗宮工事中見学できる。)~昼食~科学技術館(北の丸公園)の案にてバスの予約。

前日、大嘗祭・大嘗宮について多少の知識を と思い、宮内庁HPを観ると10月26日の当日受 付の参観は可能となっていて(26日は22日の即 位礼の予備日となっていた。)思わず、ガッツポーズ。 嬉しくて涙。夜も遅く一人喜びに浸りました。

そして当日、前日の豪雨が嘘のように晴れ渡り、 秋晴れの晴天の中、参加者12名で行ってきました。 参観は、昼食後皇居桔梗門前に並び(先着300名迄 との事)、本人確認後に入門し、各国語の(6ヵ国 語位はあった)ガイドさんの説明後、各国のガイド に付いて見学するものでした。

中でも、正月と天皇誕生日の一般参賀で目にする 宮殿長和殿と宮殿東庭の石畳みの壮大さに、感動・ 感激しました。

参加の方で、又今度一般参賀に来たいと言っている方がおりましたが、自分もそう思いました。参加者の皆さん、役員の方々ありがとうございました。



県南ブロック協議会 ±浦支部 武田 稔子



資源再生プラント工場等の見学会

今回県南ブロック協議会では、6年ぶりとなりま すバスツアーを開催しました。

見学先は、テレビでもご紹介されました産業廃棄 物処理業界のイメージを変えるべく取り組んできた 石坂産業さんです。

埼玉県入間郡三芳町にある、周辺の自然環境と働 く人のことを考えて作られた全天候型の資源再生プ ラント工場です。

見学コースでは、どこに行っても手際よく仕事を し、親切かつ明るく接してくれる社員の皆さんに感 心しました。社員さん一人一人が、スペシャリスト でありジェネラリストであると社長さんがおっしゃ るとおりでした。2時間ほどの見学でしたが、興味 をそそられるものばかりで時間が、アッという間に 過ぎてしまいました。

何よりも産業廃棄物処分場にもかかわらず匂い一



つなく物凄くきれいに整頓されていました。そして、 家族連れがとても多く、森で遊んでいる子供たちに も驚きました。

石坂ファームでとれた食材で調理したランチもと ても美味しくいただきました。お土産に買ったパン もとても美味しかったです。

行くまでの私は、匂いもほこりもすごいのかなと 考えていただけにあまりの綺麗さに驚きました。機 会がありましたら是非一度行ってみてください。













所長 益 子 一 彦

www.mikami-arc.co.jp

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36 本社

3–4–36 Ohmachi, Mito-city, Ibaraki, 310–0062 Japan

東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4階

O&K1.1.1 Bldg., 4F, 1-1-1 Higashiueno, Taito-ku, Tokyo, 110-0015 Japan

九州事務所 〒310-0062 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401 号

Sunfild Saga, 401, 3-14-31 Ekimaechuo, Saga-city, Saga, 840-0801 Japan

TEL 029-224-0606 FAX 029-226-3778 TEL +81-29-224-0606 FAX +81-29-226-3778

TEL 03-5817-8184 FAX 03-5817-8194 TEL +81-(0)3-5817-8184 FAX +81-(0)3-5817-8194

TEL 0952-37-7630



OOMA 紫 大山都市建築設計 Oyama Office for Metropolitan Architecture

http://www.ooma.co.jp/

〒309-1106 茨城県筑西市新治1996-56 TEL. 0296-21-7005 FAX. 0296-21-7006 E-mail: info@ooma.co.jp

OOMA-MITO 水戸設計室 ▼310-0041 茨城県水戸市上水戸3-5-15-102 TEL. 029-291-6340 FAX. 029-291-6341

総務・企画委員会

委員長 小川 憲一



第62回 建築士会全国大会「北海道大会」を終えて

令和元年9月21日(土)に北海道函館市の函館アリー ナにおいて、令和となり最初の全国大会が開催され ました。茨城会からは90名が参加し5名の会員が表 彰されました。

私は大会に参加した翌日、函館山のふもとにある 歴史的建造物の街並みや、近代建築などを時間を掛 けて見て廻り、初めての函館を堪能しました。併せ て私にとっては昨年6月に札幌から函館に移住した 父に2年ぶりに会う良い機会ともなりました。

受賞された会員の皆様は右記の通りです。



式場前、左から武村副会長、豊﨑さん、 菊池さん夫妻、柴会長

令和元年度 連合会会長表彰者

篠原 武司 (北茨城支部)

均 (坂東支部)

成田 孝成 (竜ヶ崎支部)

豊﨑 晋也 (土浦支部)

令和元年度 伝統的技能者表彰

菊池 均 (久慈支部)

5名の皆様、誠におめでとうございます。 今後の益々のご活躍を期待しております。



連合会長表彰4名 左から篠原さん、森さん、成田さん、豊﨑さん

建設フェスタ2019報告

今年で27回を数える「建設フェスタ 2019」が11月2日出ひたちなか市笠松 運動公園屋内プール西側特設広場で開催された。建築士会の参加は15回目。これまでは雨に悩まされることが多く 準備・運営に苦慮することもあったが、今年は晴天に恵まれたうえ、3連休の初日とあって多くの家族連れが訪れて賑わいを見せた。今年も建築士会、建築センター、建築士事務所協会の3団体が揃って参加した。建築士会は、これまで本部のほか賛助会3社が参加してきたが、今年は賛助会が2社となっ

たことから本部催事を苗木無料配布に加え、子供向け工作「万華鏡づくり」を実施し、多くの子供連れの家族を喜ばせることができた。一緒に参加した賛助会の㈱フジクリーン茨城は浄化槽の会社として顕微鏡で微生物を見せた後に手作り綿あめのプレゼント、YKK AP㈱は樹脂サッシの模型展示のほか景品が貰える射的ゲームの提供で長い列を作っていた。





今年は台風19号による被災者に配慮し、ミニ上棟式や一部イベントの縮小などもあったが、約26,000人が訪れ、晴天の中、子供たちの歓声に包まれた一日であった。

今年もイベント運営に協力頂いた総務・企画委員 会、情報・広報委員会、事務局の皆様お疲れ様でした。



空気調和・衛生設備・設計施工

<水と空気のパイオニア>



清和工業株式会社

代表取締役 小川 三郎

本 社■水戸市東野町140-4 TEL029-248-2413

日立営業所 ■日立市東多賀町2-10-40 TEL0294-36-0481 土浦営業所 ■土浦市中貫1911 TEL029-832-4780

http://www.seiwakogyo-web.co.jp

委員会 活 動



「第28回日帰り見学会」報告 NHK放送博物館とホテルランチ!

11月3日(日)、第28回になりました日帰り見学会。 今年は総勢51名。たくさんの方々にご参加をいただ き感謝いたします。

今年は予定していたオリンピックミュージアムが メンテナンス休館の為、急きょNHK放送博物館に 変更となりました。こちらでは過去の作品の展示や 普段私達が観ているニューススタジオのセットがあ ります。放送中、原稿を読むアナウンサーが常にカ メラ目線でいる謎や、天気予報の画面操作を実際に 体験することができました。そして…今回の目玉は

昼食です。日本青年会館9Fからの眺めのいい場所 でランチコース!絶品でした。この昼食を味わえた だけでも今回の日帰り旅行…元は取ったなと思いま す。午後はお台場にて自由散策。私は家族でパレッ トタウンの大観覧車に乗りました。後日調べた公式 サイトによると最高点の高さ115m!1周16分!お 台場を一望し、すごくいい眺めを堪能することがで きました。最後はダイバーシティ東京プラザ内で限 定商品を買い物し、帰路につきました。

来年の日帰り見学会も期待しています。





情報・広報委員会

委員 谷島 正憲



茨城県木造住宅耐震診断土養成講習会

11月21日休、茨城県庁9階講堂において「令和元 年度茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会」が開催 されました。昭和56年以前に建築された既存の木造 住宅の耐震診断を行う、その診断士を養成する講習 会です。今回の講習会には、新規・更新で117名の 参加があり、講師には(一社)茨城県建築士会常務 理事であり、ひたちなか支部長でもある川又先生を 迎えて行われました。受講者は登録後、認定者名簿 にて県より公表されます。また、市町村などの行政 が実施する木造住宅耐震診断士派遣事業や耐震診断 費補助事業を利用する場合、その診断を行う建築士 等は茨城県木造住宅耐震診断士であることが必要と なります。第一部「総論・一般診断法 被災度区分 判定概要」、第二部「例題演習・精密診断・補強方法」 と いう構成で約4時間の講習となりました。テキ ストは木造住宅の耐震診断と補強方法2012年改訂版 ですが、川又先生が独自に約100 Pの資料をまとめ てくださり、とてもわかりやすく講習を受けること ができました。先ずは、総論として耐震改修促進法 ができた経緯やその内容について、進まない耐震補 強に対しての各種制度について、設計(建築基準法) と耐震診断(建築物の耐震改修の促進に関する法 律)の違い、建築基準法の改正に伴って変わってき た木造住宅 に関する基準の変遷など、おさえてお

くべき基本的な話から始まりました。診断のイメー ジを健康診断に例えるなどわかりやすく解説してい ただき、一般診断法の概要として調査の順序から診 断の流れ、計算の仕方を順序立てて解説されました。 第二部では具体的な計算方法や耐震補強のための精 密診断の概要、並びに実際の補強方法などを実例と 共に解説頂きました。初期の頃は手計算で診断結果 を求めていたそうですが、現在は診断プログラムを 利用することで比較的容易に結果を得やすくなって います。しかし、算出された結果を理解し補強設計 するためにはきちんと理論を学ぶべきだとのことで した。補強設計、改修事例は実際に行われた写真を つかい具体的に学ぶことができました。講習最後に、 依頼主は「耐震補強をした建物 = 地震で何も損傷が 無い」と誤解している可能性があることや、依頼主 の予算に応じた補強設計を考えることなど、専門家 として依頼主との対応の仕方についてもお話があり ました。経験を積み重ねながら技術を身に着けて行 くことが大切であるという先生の言葉を肝に銘じて、 木造住宅耐震診断士として更なるスキルアップを感 じさせられる講習会でした。認定要件に該当する方 や更新時期に当たる方は、次年度以降ぜひ受講して いただきたいと存じます。

青年委員会

委員会 活 動



現代アート作家への挑戦 ~みなとメディアミュージアム 2019年~

みなさんは今年で11回目を迎え、ひたちなか市 那珂湊で開催された現代アートイベントをご存じ でしょうか。「みなとメディアミュージアム」通称 MMM。毎年全国から若手のアーティストが公募に て選定され、那珂湊駅を中心とし、街の中で製作・ 展示が行われるアートイベントです。今年、我々青 年委員会の有志による現代アートユニットが結成さ れ、このアートイベントへ応募・選出・受賞という 新しい挑戦が行われました。

アートユニット名は「A+you」※artとあなた、 青年委員のだれでも現代アート作家として名乗れる と共に、アノニマスなユニットであることでメン バーが変わるごとに作風は変わり、変化し続けるユ ニットをコンセプトとしています。

現代アート作家に挑戦したのは、我々が現在取り 組む2020年関ブロ茨城大会のPRや新たな仲間の発 掘のきっかけ、継続的に参加できる事業の創出です。

作家、建築家・・・など自称で名乗れるものはた くさんあります。しかし、作家と自称するには何ら かの実績が必要であり、しがらみのない、公的な賞 を受賞することで実績をつくり、人から作家と呼ば れる必要があります。今回のアートイベントへの応 募・展示はこのような戦略のもとに行われました。

我々の作品は、CO2排出に占める割合の上位が建 設業界であるから、建築廃材に着目しアートによる 再生・利活用を行うことで、一般の人々に広く見て、 感じて頂くことを目指しました。建築現場で発生す る木材、金属片、家具、金物等の廃材を集め、それ らを組み上げることで作品を作り上げる。8月に行 われた製作においては、地元工務店の協力のもと、 各委員が現地に入りエアコンの無い蔵の中で朝から 夕方まで連日作業を行い5m×5m×高さ5mほど の作品を完成させました。

県内外から17名の作家が参加した今年のイベント は8月31日に無事クロージングを迎え、我々の作品 も地域賞を受賞することができました。我々青年委 員会では、この受賞による経歴を得ることで、現代 アートユニットを作り出すことができました。今後、 建築士という枠組みを利用した現代アート作家とし て、これまでにない活動にチャレンジできればと考 えています。アートユニットへの企画オファーや参 加お待ちしています。



₩式会社 桜設計事務所

代表取能学 山 田 博 通

₹ 310 ± 0851 复减果水戸市千盆町1239 TEL 029-241-8441 FAX 029-241-8579 E-man Liensakuna@aosoa.asn. ja (代表).





伊勢甚グループ プラザホテル Tel.029-305-8111(代表)

〒 310-0851 茨城県水戸市千波町 2078-1

http://www.mito-plaza.jp/

女性委員会(わくわくセミナー)

「住宅の省エネ適合 義務化見送りの 舞台裏と今後

■土浦支部 池田 由紀代

9月25日(水)土浦市三中地区公民館にて、わくわく セミナーを開催しました。講師は自称「省エネおた く」とおっしゃっていた、日本ERI株式会社 つく ば支店の徳永圭さん。「省エネ及び長期優良の本質 を理解して、良い家の条件を考え未来の子供達の為 に優良な住宅を供給し続けることをご提案致しま す。」と快く引き受けてくださいました。

前半の講義は、環境問題について世界ではいま何 が起きているのか?また、それが日本にどんな影響 を与えているのか?という事や、「省エネ」とはな



んぞや?という初歩的な事をご説明いただきました。 続いて「省エネ基準義務化の見送りについて」や「省 エネ住宅の必要性」などなど、たくさんの資料と中 身の濃い内容を熱く語ってくださいました。

「省エネ」が注目されるようになって久しいので すが、いろいろな省エネ基準があったり、ゼロエネ ルギーや低炭素といった表現があったり、「省エネ 住宅」という商品が登場したり、どこがどう違うの かよく分かりませんでしたが、それらの疑問を解決 することができたセミナーでした。

「犬と猫との住まい」

■土浦支部 赤木 裕子

講師として、家庭動物住環境研究家として活躍さ れている、東京在住の一級建築士、金巻とも子先生 をお招きし、14名の参加をいただきました。

10月25日金この日はあいにくの暴風雨で、電車が ひたち野うしく駅で止まるというアクシデントに見 舞われ、開始が若干遅れてしまいましたが、精力的 にお話をいただき、大変充実したセミナーだったと 思います。

日本人が抱える室内飼育の課題から始まり、動物 の福祉と住環境、犬猫との同居生活のための環境整 備、住まいにも遊びと学びの空間を確保する・・・ などなど、引き出しがいっぱいで質問にもていねい にお答えいただきました。

全体として印象的だったのは、常に犬と猫の気持 ちになって考えるということ。例えば、犬猫と暮 らす住まいの設計を考える時に、とかく手入れの し易さに目が行きがちですが、犬猫にとって心地よ



い空間を考えることが大事。また犬と猫との生活モ ジュールの違い、目線の高さの違い。背の高い人間 を見るためにいつも見上げているので、肩が凝るの だそうです。私も犬と猫両方飼っていますが、本当 の意味で犬猫の気持ちがわかっていない部分があっ たなぁ~と反省をしました。

今回学んだことを踏まえて、今後、人だけでなく 犬猫にとっても安心安全な住まいづくりをしていき たいと思います。

「オーダーキッチンの話」

■土浦支部 赤木 香菜子

令和元年11月28日休に土浦市の三中地区公民館にて行われましたオーダーキッチンのセミナーに参加いたしました。講師は、渋谷区にショールームを構え、筑西市に工場を持つ株式会社トヨウラから、主任プランナーの吉田氏と開発部 設計・開発グループの吉岡氏の2人の女性に来ていただきました。

企画の段階では、オーダーキッチンに興味のある方は女性が多いと勝手に思っていたのですが、 男性の参加者も多かったことに、とても感激いた しました。

セミナーでは、水 (シンク) +台 (カウンター) + 火 (コンロ) +収納の4つの項目について、どの材料が選べて、どこまで造れるのかを詳しく説明していただきました。また、最近の傾向(流行)はどんなものが多いのかも、実例の写真なども見せていただきながら、いろいろなタイプのオーダーキッチンについて学ぶことができました。

キッチンの素材や色にも流行りがあり、時代の流





れについていくのは大変だなと感じる一方で、やはり、自分の好きなものを選んで組み合わせて造るオーダーキッチンは、憧れだと感じました。自分の家は、残念ながらオーダーキッチンではないのですが・・・いつか、お客様と一緒に、世界にひとつだけのキッチンを造ってみたいです。

設計・監理業務等のリスクに備えた 建築士会会員のための補償制度



建築士賠償責任補償制度(けんばい)

〈お問い合わせ先〉

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階 TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067 www.kenchikushikai.or.jp

オフィスで必要なものはなんでも!

·OA機器·事務用品·スチール家具販売

㈱トビタ文具

水戸市谷津町887 公(029) 212-5311 代 FAX(029) 253-0681

女性委員会(ラブアークセミナー)

「高齢者のための住宅リフォーム」 - 介護保険制度を中心に -

■日立支部 近藤 あすか

11月14日(木)、茨城県総合福祉会館にて、表記のセ ミナーが開催されました。

講師は「小川バリアフリープラン」代表の小川仙 月氏。

高齢者や障害を持った方々の建築・リフォームの 相談の窓口となり、行政への事務手続きから工事ま でを行っています。

65歳からの介護保険を利用した住 宅改修には、手すりの取り付け・段差 解消・すべりにくい床材への変更・ 引き戸等への扉の取り替え・洋式便 器への交換の5点が挙げられます。

住宅改修の際一番大切なことは、"何 の動作に困っているのか"という事。 それが明確にならなければ手すり等 の「設置個所」「適した形」が分からず、 ご本人やご家族の思い込みで理学・ 作業療法的に間違っている場合があ るそうです。小川氏は実際の現場の 写真や私たち建築士向けの実務商品

などを併せて説明して頂き、大変分かりやすく理解 を深めることが出来ました。

住み慣れた自宅で自身が出来ることを自分の力で 行えることは、生き生きとした毎日を過ごせること につながると思います。そのような自立した日々を 送れる高齢者、障害を持った方が増えるよう、自身 も出来ることを探して力になりたいと思いました。 皆が安心して歳を重ねることが出来る社会になるこ とを願います。





印刷機は ぶどうのしぼり機から 始まりました。

あなたの"ひらめき"に 確かな技術でお応えします。 🔊 総合印刷 企画・デザイン

大判カラー出力 オンデマンド印刷 マルチメディアコンテンツ シール・ステッカー、フィルム製品 CD・DVDプレス, コピー

販促・ノベルティ・各種名入れ製品 など

 電子書籍(EPUBィーパブ),電子ブック,PDF作成 カタログ,チラシ,パンフ,冊子,紙資料,フィルム,その他

その他、お気軽にご相談ください。



平須工場《営業本部/製造本部》 〒310-0853 茨城県水戸市平須町1822-122

TEL.029-305-5588 FAX.029-305-5533

http://www.takano-kousoku.co.jp e-mail tki@atlas.plala.or.jp 高野高速印刷



『里山住宅博 in TSUKUBA 2019』 見学会感想

■ひたちなか支部 桑原 文子

10月17日(木)、つくば市春風台にある「里山住宅博 in TSUKUBA 2019」の見学会へ参加してきました。

茨城県産材普及促進協議会・会長の中村公子さん に今回の計画の説明をしていただき、その後各々が 自由に公開している住宅を見学してきました。

日本人が昔から大切に保持してきた里山の風景を 残しながらそこに住まう方々が共有の庭や広場を持 つことにより自然豊かな環境の中で触れ合いながら 共に作っていける町作りをしていました。

建物の境界は塀を作って囲うのではなく、植え込 みなどである程度の視線は遮りながらも緩やかに繋 がっていました。また、配置計画なども共有スペー スに開いて計画するなど、いい距離感を保ちながら も触れ合いが生まれるように感じました。

町の中を歩いていると植栽や共有の広場があり、

どの住宅もその場に馴染んだとても落 ち着いた雰囲気でした。景観協定を作り、 建物の高さや面積、外部仕上げなどのルー ルを設けることで統一感が感じられたの だと思います。

また地元の工務店が地元の木を使って 家をつくる、素晴らしい取組みをしてい ます。一軒一軒に愛情が感じられる素敵 な町ができていました。手刻みで施工し た木組みの家は木の気持ちよさが感じら れ、所々に作り手のこだわりが詰まって おり、大変感動しました。



見学の前に街区計画の説明

今回ヴァンガードハウスとして参加された建築家 が設計した住宅はどれも自然エネルギーを取り入れ た家づくりをされており、興味深く見学しました。 実際に体験することができ良かったです。楽しい時 間はあっという間に過ぎ、時間が足りないくらいで した。

貴重な機会をありがとうございました。



BP材を使用した集会所前で



共有の広場と街並み



全国合格者の4割以上(占有率41.3%)は当学院の当年度受講生!

.2% O

9割出席・9割宿題提出・模擬試験2ランクI達成 当年度受講生1,206名中/合格者967名 2019年12用5日東台

荐 隆司



当学院 当年度受講生修了率

当学院当年度受講生46名中/ 修了者39名 (2019年12月18日現在)

全国修了率 67.6%に対して

| 全年 | 全年 | 2019年版 | 全年 | 全年 | 2019年版 | 2019

2019年度 1級建築施工管理技術検定

2019年 1級土木施工管理技術検定 受到抵缴 当学院 基準達成当年度受講生合格率 64.7%に対して 85.2%

8割出席·8割宿顕提出当年度受職生88名中/合格者75名(2019)

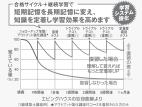
2020年もさらに多くの受講生に「合格」を勝ち取っていただけるよう、講習システムを徹底強化します!

効率的な学習サイクルで 大幅な得点力アップを実現

合格サイクル+継続学習

各週ごとに設定された学習項目を、当学院 が誇る最高品質の講義で基礎から正しく理 解し、アウトブットトレーニングを繰り返す ことで、学列は観映変能に要な得点力、さら には応用力まで養成します。

開設当日に 完全理解 十 アウトブット トレーニング >>> 知識の定着 応用力の養成



当学院スタッフが学習状況を確認し、 効果的な学習方法をアドバイス!

合格ダイアリー

ー 合格に必要なのは、日々の学習の継続。大半の資格スクール では、自宅での学習は本人任せですが、当学院では毎日の学 習管理もしっかりサポート、「合格ダイアリー」で日々の予定を 確認し、効果的な学習方法をアドバイスします。



受講生の記入しやすさ、 使いやすさ等を追求した 体裁!

受講生一人ひとりの理解度に 合わせた"真の個別指導"を実施

対面型指導

当学院は前立当初から、資師が順 接数能に立ては商を行う。対策 理型のインタライプ開催にごか、 コライ党開催にごか、 このみなたがいかり提展できて、 いるか、表情を見て確認できるから です。受理を一人といいまする。 質の機能規関"を実施しています。 3 最新情報を回収交換



講師研修で高い レベルの指導を標準化

建築士設計製図講座 講師募集中 詳細・応募は右記QRコードから

建設系資格取得応援「願書取り寄せサービス」&当学院の教材・ガイダンスを無料でご提供「合格セレクトショップ」実施中! 詳しくはHPにて!



 スクールサイト
 www.shikaku.co.jp
 Facebook 「総合資格 fb] で検索

 コーボレートサイト
 www.sogoshikaku.co.jp
 総合資格 検索
 総合資格 検索 ロング



1級·2級 構造設計 投傷設計 建築士 1級建築士 1級建築士

開講講座一覧 1級・2級 建築施工管理技士 土木施工管理技士 1級・2級 管工事施工管理技士 七木施工管理技士

2引士 賃貸不動産 インテリア 経営管理士 コーディネーター

法定講習

級·二級·木造 建築士定期講習 管理建築士講習

第一種電気工事士定期講習 監理技術者講習

宅建登録講習 宅建登録実務講習

①建築士会会員のための共済補償制度

ご愛顧いただいている「新所得補償プラン」が

されました!



(団体総合生活補償保険)(団体長期障害所得補償保険)

POINT!

自身のライフスタイルに合わせて、 険の設計ができるようになりまし

(既にご加入の方で、ご加入内容に変更の無い方は自動継続扱いとなりますので手続きは不要です)

最長79才までご加入できます! (「長期収入サポート制度」については最長69才まで)

「女性がんタイプ」が新登場! 女性特有のがんに対する備えも安心です。

病気やケガで長期間にわたり けなくなったら…。

> **期収入サポート制度」に、単独で加入できるようになりました。** さらに、精神障害による就業障害も補償できるタイプをご用意しました。

建築士会トータルサポートWEBサイトのご案内



▼詳しくはこちら

保険

Q 検 索



掛金計算サイト はこちら▶





フリーコールをご用意しています。 お気軽にご相談ください。

〈取扱代理店〉株式会社エイアイシー

このチラシは概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「建築士会トータルサポート」のパンフレットおよび「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせて ご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。 ご不明な点につきましては、取扱代理店または 引受保険会社にお問合わせください。 保険料に適用される割引およびその条件等についてはパンフレットをご覧ください。

〈引受保険会社〉 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 (幹事) 広域法人開発部 営業第一課

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-19 あいおいニッセイ同和損保日本橋本社ビル TEL.03-6734-9608

東京海上日動火災保険株式会社 (非幹事)

(2019年12月承認) B19-250008

皆さまの合格実績に支えられ、おかげさまで50周年







努力を結果に結びつける

1級建築士 合格実績

)83~2017年 合格者累計 日建学院 1級建築士 113,712人 国累計1級建築士197,391人 当学院合格者の 1級建築士占有率

2級建築士 173,239人

あなたの夢、応援します。

★建築士会特別割引特典あり!お気軽に最寄校へご連絡下さい★

水戸校
駐車場完備

つくば校 研究学園駅より徒歩3分

成田校
駐車場完備

------〒310-0852 水戸市笠原町978-27 IPICビル3F

〒305-0817 茨城県つくば市研究学園**5-1-4 高谷ビル3F**

〒 286-0045 千葉県 成田市 並木町221-16

TEL.029-305-5433 FAX.029-241-5128

TEL.029-863-1166 FAX.029-859-5369

TEL.0476-22-8011 FAX.0476-22-8021

日建学院コールセンター ② 0120-243-229 株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

2016~2018













株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3·1·28 第二中央ビル 7 階 TEL 029 (227) 0222 FAX 029 (231) 0960

http://www.shiba-arc.co.jp/



